2023 年 6 月 30 日

「高齢者に対する経尿道的尿路結石除去術の安全性の研究」について

当科では下記の臨床研究を行っています。
本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。
本研究は当院の倫理・臨床研究審査委員会で審査され病院長の承認を受けています。

＜研究の背景・意義＞
尿路結石治療のひとつに経尿道的尿路結石除去術（TUL）があります。侵襲も比較的少なく、治療成績も良好であり全国でも広く行われている治療となります。尿路結石の中でも一度腎盂腎炎などの感染症を起こしてしまった患者さんの場合は感染結石となっているため結石除去治療として積極的に TUL を行っております。しかし高齢者の場合は合併症のリスクも高くなる可能性があり、TUL の適応について悩む場合もあります。一般的に全年齢の患者さんにおける治療成績や術後合併症などについての報告は散見されますが、高齢者の方における成績は報告が少ないのが現状です。そこで電子カルテなどより後ろ向きにデータを収集し解析する本研究を計画しました。

＜研究の目的＞
高齢者と若年者で TUL 術後の成績、合併症について比較検討することを目的とします。

＜研究責任者・研究組織＞
大久保　和俊　京都桂病院泌尿器科　副院長

＜対象となる患者さん＞
当院にて 2014 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日までの期間に経尿道的尿路結石除去術（TUL）を受けられた患者さん

＜研究期間＞
2024 年 12 月 31 日までを予定しています。

＜研究の方法・使用する項目など＞
電子カルテからの情報収集、患者さん本人やご家族、入居施設へご連絡し電話での情報収集を予定しています。

＜個人情報の取り扱い＞
研究で集めるデータには患者さんのお名前や住所など個人を特定する情報は含まれません。また特定の個人を識別することができないよう、研究対象者に番号を付与したうえで、対応表は研究責任者が鍵の掛るキャビネットに保管します（連結可能匿名化）。

＜研究成果の発表について＞
研究結果はまとめて、学会や出版物として公表することがありますが、その場合でも個人情報が漏れることはありません。プライバシーは守られます。

＜データ提供による利益と不利益＞
研究に参加されなくても今後の診療を受けるうえで不利益はありません。この研究は過去の診療録などの情報を用いた観察研究です。研究に参加された場合、患者さんに対して利益・不利益のどちらも発生することはありません。予定外の治療や検査、薬が追加されることもありません。

＜データ利用の拒否と中止＞
本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

＜本研究の資金源（利益相反）＞
利益相反はありません。

＜問い合わせ先＞
本研究に関するご質問等がありましたら担当医師まで問い合わせ下さい。

問い合わせ先
京都桂病院
京都市西京区山田平尾町 17 番地
TEL：075-391-5811(代表)
責任医師：大久保　和俊